

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-770	13-029	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol intake and prognosis of atrial fibrillation. 飲酒と心房細動の予後		
<b>執筆者</b>		
Overvad TF, Rasmussen LH, Skjøth F, Overvad K, Albertsen IE, Lane DA, Lip GY, Larsen TB.		
<b>掲載誌</b>		
Heart. 2013 Aug;99(15):1093-9. doi: 10.1136/heartjnl-2013-304036. Epub 2013 Jun 13.		
<b>キーワード</b>		PMID
アルコール摂取、心房細動、前向きコホート研究		23766449
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> 心房細動を発生した患者における飲酒を評価することである。</p> <p><b>方法：</b> デンマーク全土からの一般住民ベースのコホート研究である Danish Diet, Cancer and Health study を用いて検討を行った。このコホートの参加者は年齢 50～64 歳の男女 57,053 人（男性 27,178 人・女性 29,875 人）で、追跡期間中に心房細動を発症した 3,107 人（男性 1,999 人・女性 1,108 人）を含んでいる。アウトカムは血栓塞栓症の発症または死亡とした。</p> <p><b>結果：</b> 追跡期間の中央値は 4.9 年でこの期間に 608 人が死亡し、211 人が血栓塞栓症を発症した。心房細動を発症した対象者の中で男性 690 人（35%）、女性 233 人（21%）が、多量の飲酒者（男性では 240g/週以上、女性では 156g/週以上）であった。経口抗凝固剤の服用と CHA2DS2-VASc スコアを調整すると、324g/週以上の飲酒者の男性は、168g/週未満の摂取者と比べて血栓塞栓症または死亡の高いリスク（HR1.33、95%CI:1.08to1.63）を有していた。女性においては、240 g/週以上の飲酒者は以下の飲酒者の人と比べると高いリスク（HR1.23、95%CI:0.78to1.96）であった。男性におけるより高いリスクは、死亡に起因し（HR 1.51, 95% CI 1.20 to 1.89）だが、一方で女性では血栓塞栓症に起因した（HR 1.71, 95% CI 0.81 to 3.60）。</p> <p><b>結論：</b> 多量飲酒は、他の危険因子の調整後も血栓塞栓症または死亡に起因した。このことは循環器疾患予防戦略のターゲットとしてハイリスクの心房細動患者を同定することに役立つだろう。</p>		